



公益財団法人 宮城県対がん協会

ともしび

TOMOSHIBI



当協会の 特 色

- 高い精密検査受診率と高い早期がん発見率
- 専門医療機関紹介
- 高い信頼性に基づく精度管理
- 一貫したデータ管理



写真：広瀬橋から眺める広瀬川

CONTENTS

- | | |
|-----------------------------------|--|
| ② がん検診センター新棟開設一年を振り返って | ⑨ ピンクリボン仙台推進委員会／
リレー・フォー・ライフ・ジャパン2025 |
| ③ 事務局長就任あいさつ | ⑩ 健康コラム |
| ④ 脾臓がんリスク検診について | ⑫ オプション検査のご案内 |
| ⑤ がん講演会／すい臓がんリスク検査／すい臓がんチャリティイベント | ⑬ 宮城県がん総合支援センターのご案内 |
| ⑥ 征圧スローガン／マスコットキャラクターご紹介 | ⑭ ご寄付をいただいた法人・個人名簿 |
| ⑦ 黒川利雄がん研究基金 | ⑯ 継続寄付のお願い |
| ⑧ 2024年度がん教育事業 | |

早期発見
早期治療

がん検診は
定期的に!



グー子ちゃん

がん助くん

宮城県対がん協会がん検診センター 新棟開設から1年を振り返って

公益財団法人 宮城県対がん協会
がん検診センター所長 加藤 勝章



当協会では、旧棟の駐車場と隣接した産婦人科医院の跡地に検診部門を集約した新センターを建設し、昨年4月よりがん検診センター新棟の運用を開始しました。新センターでは、次世代型の検診センターをコンセプトに、1階はがん・生活習慣病健診フロア、2階フロアは消化器内視鏡検診センター、3階は乳がん・子宮がん検診に特化した女性のためのがん検診フロアとし、階層ごとに機能分化した設計になっています。

新センターの運用開始から1年がたちましたが、当センターで各種検診を受診された方の人数も35,782人と2023年度に比べて4,600人あまりも増加し、大変多くの方々に当センターを利用していただきました（図1）。新センターになり、受診環境が向上し、皆様に快適に検査を受けていただけるようになったのではないかと考えております。



図1 宮城県対がん協会がん検診センターの来場者数推移

新センターの内部について少し説明します。新棟入口を入ると総合受付と待合があり、その奥は旧棟に接続して多目的ホール、黒川記念室があります。多目的ホールにはテーブルや給湯設備もあり、談話室や休憩室、また検査後に食事を取っていただく部屋として使っていただけるようになっています。内部にはサイネージがあり、部屋の中でも呼び出し番号が確認できますので、安心してご利用ください。

黒川記念室には当協会の歴史を語る様々な品が展示されております。当協会の創設者である黒川利雄先生の偉業や胃エックス線検査が始まった頃に初めて発見された早期胃癌の画像や昔の内視鏡検査装置など歴史的にも価値のある品々ですので、お時間がある際に、是非お立ち寄りください。

新棟1階に接続した旧棟1階の東側では胃エックス線集団検診を行っています。旧棟側にはなりますが、エックス線透視装置は新センターの運用に合わせて最新の装置に更新しており、精緻な画像検査が可能となっております。

新棟1階はがん・生活習慣病健診、いわゆる人間ドックを行うフロアです（図2）。杜の都仙台をイメージした緑を基調とした待合の左右に検査室を配置し、検査衣に着替えて中央の待合で



図2 1階：がん・生活習慣病健診フロア

お待ちいただきます。各検査ブースには通過管理システムを導入し、受診者の方々の検査項目にしたがって検査がスムーズに受けられるように工夫しております。旧センター時代に比べると検査待ちの時間が短くなっておりますが、さらに効率化を進めて参ります。人間ドックの受診者の方で胃内視鏡検査や婦人科検診をご希望された方は、専用のエレベーターを使って移動していただけるよう動線も工夫されております。

2階フロアは、全国でも先駆けとなる、がん検診に特化した消化器内視鏡検診センターです（図3）。当センターでの内視鏡検査数は上部が10,888件、下部が1,460件で宮城県内でもトップクラスの検査数となっています。



図3 2階：消化器内視鏡検診センター

検査室は、ブラウンを基調とした落ち着いたデザインで、上部消化管内視鏡検査室が6ブース、下部が3ブースとなっています。上部消化管内視鏡検査では、全て細径の内視鏡装置を使用しており、従来の内視鏡に比べて細くて苦痛の少ない検査を提供できるようになっています。さらに、AIによる診断支援装置を導入して診断精度の向上を図っています。

大腸内視鏡検査では、拡大観察や特殊光観察のほか、外来でコールドポリペクトミーなども実施できるようになっています。

3階は、女性のためのがん検診フロアで、乳がんや子宮がん検診がワンフロアで受診できるようになっています（図4）。暖色系のオレンジを基調とした造りで、キッズスペースやパウダールームも完備しております。



図4 3階：女性のためのがん検診フロア

新センターでは、乳がんや子宮がんの一次検診だけでなく、専門医による精密検査や経過観察を行っています。特に、当センターでは全国の検診施設でも数少ない常勤の婦人科専門医による専門外来を設置しており、専門性を活かした高度な診療を提供しています。

最後に

新センターの運用開始から1年たちますが、精度の高い検診の提供はもちろんのことですが、受診者の皆様が快適に安心して検診を受けていただけるように更なる環境整備に努めて参りたいと考えております。多数の方々のご利用をお待ちしております。

事務局 長 就任 あいさつ

公益財団法人宮城県対がん協会理事会および評議員会の議決により、2025年4月1日付けで、業務執行理事・事務局長を拝命することになりました。今後ともよろしくお願い申し上げます。



公益財団法人
宮城県対がん協会

事務局長
布田 直樹

就任から3か月経ちますが事業推進の重さを痛感しながら日々の業務に追われているところです。

当協会は黒川利雄先生の“がんで亡くなる人をひとりでもなくしたい”との思いから、1958年に全国に先駆けて巡回でのがん検診を開始して以来、普及啓発・一次検診・精密検査・精密検査未受診者への受診勧奨・治療への誘導・結果集計を含めた事後管理と一貫した検診体系で全国のモデルになっている「宮城方式」を基本としながら、科学的根拠に基づいた検診を実施しています。

昨年4月には多くの皆様からのお力添えを賜りました新がん検診センターも無事に完成し運用を開始いたしました。「次世代型がん検診」をコンセプトとして設計計画いたしました新がん検診センターは1階に人間ドックなどのがん・生活習慣病健診のフロア、2階は上部・下部の消化器内視鏡フロア、3階は女性のためのがん検診フロアと、それぞれの機能をフロアごとに集約させ、また検診の呼び出し時間を細分化すること等でより快適に安心して検診を受診できるよう配慮いたしました。お陰様で昨年度は延べ35,000人を超える受診者の方々にこの新しいがん検診センターをご利用いただき大変感謝しております。

一方、巡回でのがん検診は新型コロナ感染症の流行以降、生活様式の変化、夏場の猛暑等により受診者の減少が続いております。この減少しているがん検診の受診数の回復を目指すとともに、対策型の胃がん内視鏡検診の県内での普及、子宮頸がん検診におけるHPV検査、乳がん検診における40歳代への超音波検査導入と今後予想される新しい検診方式への対応など山積した課題に取り組んでまいりたいと考えています。また、2025年3月には“宮城県がん対策推進条例”が施行されました。今後、当協会が行っている事業がますます重要になってくると認識し、条例で掲げている“誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての県民とともにがん克服と共生を目指す”このことを関係機関および実施主体の皆様と協力しながら進めてまいります。

これまで先代が築き上げてきた伝統と、今の時代にあったスタイルを融合させながら、職員一同がん対策に一層励んでまいりますので、今後も変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げ、就任の挨拶とさせていただきます。

膵臓がんリスク検診について

公益財団法人
宮城県対がん協会

会長 下瀬川 徹



さて、今回は膵臓がん（膵癌）について述べたいと思います。

わたしの専門は膵臓病学であり、大学では膵癌についても研究を行っていました。しかし、皆さんに希望が持てるような話をするにはとてもハードルが高く、長い間テーマとして取り上げるのに気が進まないでいました。最近やっとその気になったのは、膵癌の早期診断に一筋の光明が見えてきたからです。それは、APOA2-iTQという膵癌のバイオマーカーが、昨年2月に膵癌リスクを有する方の診断に保険適用となったことです。膵癌のバイオマーカーとしては、細胞表面を覆う糖鎖（糖が鎖状に連なったもの）の一種が膵癌患者で血中濃度が高くなるため、CA19-9として日常診療に使用されています。CA19-9が発見されたのが1979年のことですから、46年ものあいだ最も信頼のおける膵癌バイオマーカーとしてこれを超えるものは現れませんでした。

日本では現在、様々なバイオマーカーが膵癌あるいは不特定の癌を予測できる検査キットとして販売され、人間ドックなどの検査項目として取り上げられています。しかし、いずれも科学的根拠が不十分であり、CA19-9ほどの信頼性がないため、保険適用とは認定されず自費で個人の意思により検査が行われています。これらの検査で仮に陽性になった場合、本当に癌があるのか、どういった癌があるのかまで責任を持って精査する仕組みがありません。高額な検査キットもありますが、やりっぱなしの無責任な診断体系であり、陰性の場合に本当に癌がないのか保証はありませんし、陽性になった場合は癌が潜んでいるのではないかと、心理的不安を持ち続けることになります。最も信頼性の高いCA19-9でも、早期の小さな膵癌に対しては有効でなく、早期癌のスクリーニングには使用できません。APOA2-iTQは膵癌細胞が分泌する腫瘍マーカーではなく、腫瘍による膵管狭窄が起す随伴性膵炎や膵萎縮などを捉えたとされ、膵癌特異的なものではありませんが膵臓内の小さな病変を検出できる可能

性があります。事実、多数例の膵癌患者で測定すると進行度が比較的早い段階から陽性になるようです。CA19-9と同様、早期の膵癌スクリーニングには保険適用はありませんが、特に膵癌の危険因子を有する方には人間ドックなどの選択項目として手がかりになる可能性が考えられます。CA19-9との併用や、腹部超音波検査（US）との併用にも期待が寄せられます。

宮城県対がん協会は、今年4月から膵癌リスク検診として人間ドックにAPOA2-iTQをオプション検査に採用しました。当協会では東北大学消化器内科と連携し、陽性者には精密検査と経過観察を行う検診体系を用意し、責任ある対応を行います。膵癌のリスク因子として家系に膵癌発症者がいる方、特に父母、兄弟・姉妹に膵癌患者がいる高危険群の方、膵臓のう胞（液体の袋）が見つかったり、肥満や糖尿病のある方、喫煙者や飲酒習慣のある方など、危険因子を有する方にはぜひお勧めしたい検診です。もちろん、この診断法が本当に有効かどうかは今後の課題であり、検査結果の集積と分析が必要ですが、私たちはまずは勇気を持ってこの試みに挑戦したいと考えています。

膵癌は悪性腫瘍の中でも最もたちの悪い癌であり、診断されても多くは手術の適用とならない進行癌です。世界的には欧米人に比べて日本人に多く、50歳を超えると急激に発症するリスクが高まり、年齢が上がるにつれて罹患率が上昇します。男女で発症に性差はなく、学歴や職種、社会的立場も発症に関係がなく誰でも罹りうる癌であり、近年確実に増加しています。最新の国内統計（2023年）によれば、男性の部位別がん死亡の第4位、女性では第3位であり、男女合計では肺、大腸に次いで第3位となっており、日本のがん対策にとって最も重要な課題の一つとなっています。私たち宮城県対がん協会は、一人でも多くの早期の膵癌を拾い上げ、命が救われる方をスクリーニングできるよう願いと希望を持って新たな事業に取り組みます。

2025年度 公益財団法人 宮城県対がん協会主催 「がん講演会」のご案内

- 日時 2025年9月17日(水) 14:30~15:30 ※開場 14:00
- 会場 仙台市戦災復興記念館(仙台市青葉区)記念ホール
- 演題 「膵臓癌は克服可能か？」
- 講師 下瀬川 徹先生(公益財団法人 宮城県対がん協会 会長)
- 受講者 約250人予定(県民一般)
- 入場料 無料(事前申し込み不要・先着順)

パネル展同時開催(14:00~16:00)

2025年度から 「すい臓がんリスク検査」スタート!

2025年度からがん・生活習慣病健診(人間ドックなど)のオプション検査に「すい臓がんリスク検査」が追加になりました。(P12参照)

採血で結果がわかる簡単な検査ですので、健康診断と一緒に是非一度受診してみてください。

すい臓がんリスク検査 5,500円(税込)



すい臓がん撲滅チャリティイベント 「PURPLE RIBBON WALK SENDAI 2025」開催

2025年4月13日(日)にすい臓がん撲滅チャリティイベント「PURPLE RIBBON WALK SENDAI 2025」が開催されました。午前の部は仙台国際センター周辺でウォーキングイベントが行われ、午後の部は仙台国際センター「萩」にて「パープル市民センター仙台2025」と称した、すい臓がんに関する講演会が行われました。



2025年度「がん征圧スローガン」が決定しました！



健康は 予防と検診の 二刀流

公益財団法人 宮城県対がん協会 検診課 物 江 一 榮 さん作

当協会検診課 物江一榮さんの作品が最優秀賞に選ばれました。

物江さんからのコメント

シンプルかつ印象深く趣旨を伝えられると共に、方向性と価値観も共有できると思えました。しかし、がん検診の受診率低下の要因として「受ける時間がない」「健康に自信がある」「検査の苦痛」などがあげられると思います。今後は、受診の啓発運動・重要性・正しい知識を学んで受診していただければと思います。



始めよう！ 健康推し活 がん検診

公益財団法人 ふくおか公衆衛生推進機構 環境科学部 井 上 勇一郎 さん作

がん検診 あなたを守る 第一歩

公益財団法人 宮崎県健康づくり協会 小林駐在 杉 元 雛 乃 さん作

『もう行った?』 声掛けあって がん検診

公益財団法人 長崎県健康事業団 健康企画課 吉 永 奈々子 さん作

宮城県対がん協会にはマスコットがいます！

『ともしび』の表紙にも毎号ひっそりと登場しているのですが、宮城県対がん協会にマスコットがいるのはご存知でしたでしょうか？

鳥の雁(がん)の「がん助くん」と「グー子ちゃん」です！

宮城県の鳥である「雁」と病の「癌(がん)」をかけていて、毎年越冬のため長旅する力強さから、“がんに負けない”との願いを込めてマスコットになりました。

「がん助くん」は、“がん”から“助”ける。

「グー子ちゃん」は、雁の英語表記の

「Goose(グース)」に由来しています。

これからもがん検診受診の呼びかけや、がん患者のみなさんを応援していきますので、かわいがっていただけると嬉しいです。



黒川利雄がん研究基金

2025年度研究者決定

「黒川利雄がん研究基金」は、がんの予防及び早期発見・治療に関する開発等に携わる若手研究者に対し研究助成を行うことを目的に平成元年に創設され、2025年度で36回目となりました。

2025年1月から3月までの期間で全国に公募をしたところ、5件の応募がありました。

4月21日に研究基金の運営委員会を開催し、申請者の研究内容を慎重に審議した結果、2025年度の研究者は下記の3名に決定いたしました。今年度の研究助成額は220万円で第1回から数えると146名の研究者に対して総額9,330万円の研究

助成金を贈ったことになります。

研究助成金の贈呈式は、去る6月9日仙台市内の会場で行われ、当協会の下瀬川徹会長からの挨拶で始まり、運営委員会の正宗淳委員長から選考までの経過報告があり、加藤勝章がん検診センター所長から研究者を紹介いたしました。

続いて下瀬川徹会長より、研究者1人ひとりに研究助成証書と助成金が贈呈され、さらに黒川先生が座右の銘としていた「山上に山あり 山また山」を刻んだ石版が贈られ、最後に研究者を代表して重田昌吾先生より謝辞が述べられました。

2025年度「黒川利雄がん研究基金」助成対象研究主題及び研究者一覧

(申請順 敬称略)

	研究主題	研究者氏名	所属	交付額
1	トリプルネガティブ乳癌(TNBC)における乳癌局所ステロイドホルモン濃度とTリンパ球サブセットの関係	山崎 あすみ (32歳)	東北大学大学院医学系研究科 乳腺・内分泌外科学分野	60万円
2	スフィンゴ脂質代謝を標的とした子宮内膜症関連卵巣癌の新規治療開発研究	重田 昌吾 (44歳)	東北大学大学院医学系研究科 婦人科学分野	60万円
3	AIによるCT画像腫瘍自動検出システムの開発	川邊 誠 (33歳)	東北大学大学院医学系研究科 消化器病態学分野	100万円

※年齢、所属は2025年3月31日現在(申請時)



黒川記念室を見学する研究者



贈呈式会場での記念撮影
後列左より布田事務局長、正宗委員長、加藤所長、伊藤所長
前列左より川邊先生、下瀬川会長、重田先生、山崎先生

2024年度がん教育事業終了

当協会では2024年度も宮城県より委託を受け、県内の大学・専門学校、事業所に向けて出前講座を実施しました。がん教育事業は、がんの予防、がんという病気そのものに対して理解していただき、「がんになっても安心して暮らせる社会」を構築するため、がんに関する正しい知識の普及啓発を行うものです。

近年、若年期女性の子宮頸がんの罹患数増加は顕著であるにもかかわらず、検診受診率は低い状況にあり、対策を講じる必要性が高いことから、県内の大学等に通う女子学生を中心に、がんに関する正しい知識と予防、がん検診の重要性に関する普及啓発を行いました。講師は、中川記念ちか子女性クリニック院長の岡村智佳子先生、スズキ記念病院産婦人科診療科長の志賀尚美先生、おざわ女性総合クリニック院長の小澤信義先生、仙台赤十字病院産婦人科部長の佐藤多代先生にご協力いただきました。キャッチアップ接種が変則的に延長された HPV ワクチンや、PMS(月経前症候群)に関するお話にも触れていただき、学生は熱心に耳を傾けている様子でした。

また、働き盛り世代は就職後にがん教育の機会が少ないため、県内事業所職員の皆様を対象に、がんについての知識とがん予防、がん検診の重要性、がん治療と仕事の両立支援について普及啓発を行いました。講師には、宮城県産業保健総合支援センターの先生をお招きし、当協会保健師と一緒に講演いただきました。

今後もがん教育によって、より多くの方に対してがんに関する正しい知識の普及啓発を行い、大学生等に対しては若年期女性の子宮頸がんの受診率向上に繋がるよう努めていきます。

2024年度がん教育事業実施事業所

事業所名	実施日	聴講数
社会福祉法人 創生会 東北事業部	12/6(金)	17名
平和交通(株)	12/19(木)	13名
(有)小野設備工業	1/14(火)	2名
株式会社 ワールドアイシティ	1/31(金)	34名



岡村 智佳子 先生



志賀 尚美 先生



小澤 信義 先生



佐藤 多代 先生

事業所向けがん教育
(産業保健総合支援センター)



2024年度がん教育事業実施大学・専門学校

学校名	講師	実施日	聴講数
宮城学院女子大学	中川記念ちか子女性クリニック 院長 岡村 智佳子	12/4(水)	51名
仙台医療福祉専門学校①	スズキ記念病院 産婦人科 診療科長 志賀 尚美	12/11(水)	32名
仙台医療福祉専門学校②	おざわ女性総合クリニック 院長 小澤 信義	12/12(木)	24名
東北福祉大学	スズキ記念病院 産婦人科 診療科長 志賀 尚美	12/19(木)	62名
仙台白百合女子大学①	仙台赤十字病院 産婦人科 部長 佐藤 多代	12/23(月)	24名
仙台白百合女子大学②	仙台赤十字病院 産婦人科 部長 佐藤 多代	1/17(金)	16名
仙台医健・スポーツ専門学校	スズキ記念病院 産婦人科 診療科長 志賀 尚美	2/13(木)	29名
東北文化学園大学	おざわ女性総合クリニック 院長 小澤 信義	3/27(木)	27名

ピンクリボン仙台推進委員会活動報告

2025 年1月11日(土) 仙台国際センターにて「みんなで子育てフェスタ&健康フォーラム」が開催され、ピンクリボン仙台推進委員会としてステージイベント、ブース出展を行いました。ステージイベントでは「もっと知ろうよ乳がんのこと ピンクリボントーク 2025」と題しピンクリボン運動への参加の呼び掛けを行い、東北大学病院総合外科の深町佳世子先生に乳がんの基本知識、乳がん検診の大切さについて講演していただきました。

当協会ではパネル展示や触診モデル体験を通して啓発を行いました。また、がん検診受診促進を呼びかけるノベルティを配布しました。子育てイベントということもあり多くの家族連れが来場し、若い世代に広く乳がんの理解を深めていただくことができました。



リレー・フォー・ライフ・ジャパン2025みやぎ開催決定!

「がんになっても住みよく、自分らしく生きられる地域を作ること」を目的に、昨年5年ぶりに24時間開催が復活したリレー・フォー・ライフ・ジャパンみやぎが、今年も青葉山公園仙臺緑彩館を会場に開催されます。日時は2025 年9月27日(土)12時から28日(日)12時まで。

恒例のウォークイベントやルミナリエ(LED 灯籠)、がん患者やその家族、支援者などの交流スペースを設ける他、ステージイベントも開催されます。是非ご参加ください。

なお、リレー・フォー・ライフ・ジャパンみやぎでは寄付を募集しており、集まった寄付金は、必要経費を除き日本対がん協会に寄付されます。当日は、参加寄附金として1,000 円が必要となります(がんサバイバーと高校生以下の参加者は不要)。

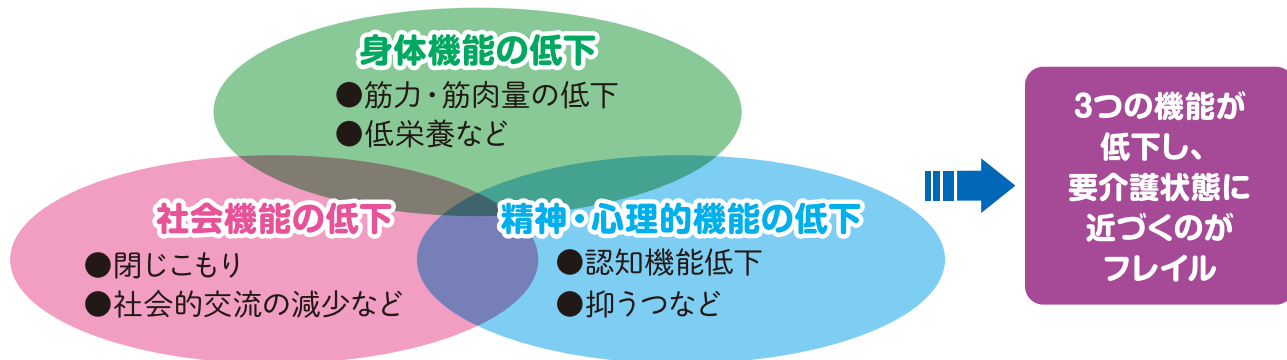
■ 昨年の様子



フレイルをご存じですか？

フレイルとは？

加齢に伴って筋力や心身の機能が低下し、健康と要介護状態の中間にある状態のことをいいます。



フレイルはこのような進んでいきます

早い段階から対策することで予防・改善可能です



加齢や持病、生活習慣が原因となり、フレイルが進行すると心身の衰えがより早く進行していきます。

フレイル予防のための4つのポイント

1. 食事



- 1日3食、規則正しく食べましょう
- 1日10品目を食べましょう
- たんぱく質を意識して食べましょう
- 痩せすぎないようにしましょう

1日3食、10品目を満遍なく摂りましょう！



2. 運動

高齢期になると筋肉の減少により、足腰が衰えやすくなります。少しでも多く体を動かし、座りっぱなしの時間を少なくしましょう。家でできる簡単な運動をご紹介しますので、是非、取り組んでみましょう！

1 ふとももを上げる運動



2 つま先立ち



椅子や机は移動しにくく安定したものを使用しましょう

3 お尻を上げる運動



運動する際のポイント

- 動作中は息を止めないようにしましょう。
- 足の筋肉に力を入れるのを意識しながら行いましょう。
- それぞれ10回繰り返し、1日3セットを目標に無理のない範囲で行いましょう。

3. 社会参加

高齢期は、家に閉じこもってばかりいると足腰が衰えるだけでなく、食欲も低下してしまいます。さらに脳への刺激も少なく、脳の機能も衰え、認知症の危険性も高まります。

- 対策
- 1日1回は外出しましょう
 - 地域の活動に積極的に参加しましょう
 - 趣味をみつけてみましょう



4. 口腔ケア

歯と口の状態が悪くなると、栄養をとりにくくなることで活動量が低下し、食欲や筋力が低下して活動量が一層減少するなどの悪循環を引き起こしてしまいます。

- 対策
- 歯磨きや義歯のお手入れなどで口の中を清潔に保ちましょう
 - 口腔体操などで口や舌の機能を守りましょう
 - 定期的に歯科健診を受けましょう



できることから毎日の習慣に取り入れてみましょう

がん・生活習慣病健診に新たなオプション検査項目が増えました

すい臓がんリスク検査のご紹介

アポリポ蛋白A2 (APOA2) アイソフォーム検査と
CA19-9の併用法によってすい臓がんのリスクを判別する検査です。 **5,500円** (税込)

CA19-9は腫瘍マーカーの一つですが、APOA2-i Indexによる判定結果とCA19-9の測定結果を組み合わせることにより、
相補的にすい臓がんを判別できると言われています。

～すい臓がんリスク検査の流れ～

- 採血での検査です。
- 検査は、「APOA2-i Index」「CA19-9」2種類の濃度を測定して判定します。
- 精密検査に該当した場合は、東北大学病院の膵臓外来に紹介となります。紹介状や外来受診の方法などについては、
当方で手続きいたしますので、結果通知書をご覧の上当方へご連絡いただきますようお願いいたします。*
- 精密検査は、腹部超音波検査、造影CT、腹部MRI、超音波内視鏡、内視鏡的逆行性胆管すい管造影などを行います。
※他の医療機関への紹介を希望される場合はご相談ください。

～アポリポ蛋白A2 (APOA2) アイソフォーム検査とは～

- APOA2アイソフォームは、すい臓のがん診断補助に用いられる腫瘍マーカーです。
- ・血液中にあるAPOA2というタンパク質には主に3つのタイプ (アイソフォーム) があり、健康な人はそのバランスが一定に
保たれています。
- ・すい臓がんになると、このバランスが崩れてきます。
- ・APOA2アイソフォーム検査は、このバランスを示す指標「APOA2-i Index」を用いて判定を行います。
- ・従来の腫瘍マーカーとは異なる物質を測定するため、これまで検出されなかったすい臓がんを見つけられる可能性があります。

オプション検査特別料金のご案内

2024年度に続いてがん・生活習慣病健診の一部のオプション検査を特別料金で提供しています。
ぜひこの機会にご検討ください。

2025年度オプション検査料金

オプション検査項目	通常料金	特別料金 (2026年3月まで)	オプション検査項目	通常料金	特別料金 (2026年3月まで)
上部消化管内視鏡検査 (エックス線検査からの変更差額)	4,400円	→ 2,200円	乳がん検査 (39歳以下)	3,410円	→ 3,410円
低線量肺CT検査	11,000円	→ 8,800円	子宮頸がん検査 (細胞診+経膈超音波)	7,348円	→ 7,348円
低線量内臓脂肪測定CT検査	4,400円	→ 4,400円	HPV検査 ※子宮頸がん検査受診時に検査可	5,500円	→ 3,600円
肺・内臓脂肪セット検査 (CT)	15,400円	→ 11,000円	骨粗鬆症検査	2,200円	→ 2,200円
乳がん検査 (40～64歳)	6,930円	→ 5,500円	前立腺がん検査	2,420円	→ 2,200円
乳がん検査 (65歳以上)	4,950円	→ 3,300円	ヒロリ菌抗体・ペプシノゲン検査	3,300円	→ 3,300円

(税込表記)

ご加入されている健康保険組合や事務所様との契約によって取り扱いが異なる場合があります。
詳しくはお問合せください。

公益財団法人宮城県対がん協会 ドック推進課 TEL022-263-1528

宮城県がん総合支援センター

～宮城県から委託を受けて宮城県対がん協会内に設置しています～

がんに関する心配ごとや悩みに専門の相談員が応じます。 **相談無料**
ひとりで悩まず、お話ししてみませんか？

ご本人、ご家族、どなたでもご相談ください。 (個人情報厳守します)



がんなんでも相談

相談方法 電話、面談 (要予約)、メール、手紙、FAX

TEL 022-263-1560 **FAX** 022-263-1548

メール zaitaku-gan@miyagi-taigan.or.jp

(ホームページの相談フォームをご利用ください)

相談受付 月曜日～金曜日 (祝日・休日、年末年始は除く)
午前9時～午後4時

費用 相談にかかる費用は無料です。(通話料は相談者の負担となります。)

住所 〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉5-7-30 宮城県対がん協会内

※必要な場合は適切な窓口を紹介します。
※症状や病気に関する診断や治療について判断することはできません。
※個人情報は厳守いたします。



がん相談の他に...

《がん患者会の支援》



「がん患者会・サロン ネットワークみやぎ」の事務局を担当しています。
現在 29 団体が加入していますので、患者会の活動についてもお伝えします。

《がんピアサポーターの育成》

がんのピアサポーターとは「がんを体験した人同士がピア (仲間) として体験や悩みを共有し、
ともに考え、がん患者さんや (またはその家族) を支援 (サポート) する人のことをいいます。
研修会の開催や病院等での実習を行っています。



新がん検診センター建設募金

■個人

阿部洋

篤志寄付金

阿部洋、及川麻美、株式会社デンコードー、
江向裕史、ホッとサロンin仙台、
住友生命保険相互会社仙台支社、
センター募金箱

黒川利雄がん研究基金

泉田京子、齋藤千晴、永窪紀代美、及川貴司、
渡辺浩之、佐藤しげみ、布田直樹、盛田美樹

賛助会費

■特定

株式会社ビー・プロ、同和興業株式会社、
コヤマリネン株式会社 仙台事業所、
株式会社七十七銀行、有限会社村山自動車、
カガワ印刷株式会社、七十七リース株式会社、
株式会社仙台銀行、協業組合仙台清掃公社、
同和警備株式会社、杜の都信用金庫、
株式会社バイタルネット、コセキ株式会社、
オリオシステム株式会社、
株式会社トヨタレンタリース宮城、
東邦薬品株式会社、
ホロジックジャパン株式会社、
カイゲンファーマ株式会社 仙台営業所、

チバ器械株式会社、有限会社タニウチ印刷、
株式会社アイクリーン、
株式会社シバタインテック、
堀井薬品工業株式会社、
キャノンメディカルシステムズ株式会社、
伏見製薬株式会社 仙台営業所、
小林クリエイト株式会社 北日本支社 仙台営業課、
ライズ株式会社

■法人

アフラック宮城県アソシエイツ会、
イシイ株式会社

■議会

大和町議会

■医師会

塩釜医師会

大井皮フ科泌尿器科、
公益財団法人宮城厚生協会 坂総合病院、
いけの医院、医療法人及川内科医院、
医療法人日和会 おだかクリニック、
(医)中山クリニック、医療法人友仁会 松島病院

仙台市医師会

医療法人社団 小林眼科医院、猪岡英二、
松尾けんこうクリニック、野口謙治、
仙台今村クリニック、わたるクリニック、
南光台やまもと小児科、塚本二郎

柴田郡医師会

みやぎ県南中核病院

大崎市医師会

(医)鎌田内科クリニック

栗原市医師会

栗原市病院事業 栗原市立栗駒病院

加美郡医師会

大山医院

石巻市医師会

二宮健次、古山元之、箕田紳一郎、
渡辺充、よしろう内科、やまもと産婦人科、
石巻診療所、いしのまき矢吹クリニック、山内哲、
土井洋、大街道じゅんクリニック、
こばやし医院、阿部雄悟、相沢正孝、
あらい脳神経外科クリニック、
伊藤内科クリニック、おおば小児クリニック、
川村尚道、久門俊勝、齋藤潔、坂井武昭、
佐久間眼科小児科医院、佐藤内科医院、
中浦内科医院、佐藤景、茜平クリニック、
鈴木廣、高橋邦広、しらゆりクリニック、
川原田博章、田中典和

気仙沼市医師会

医療法人尚仁会 森田医院、おだか医院、
医療法人移川哲仁会、森産婦人科医院、
村岡外科クリニック、ささはら総合診療科、
大里胃腸科内科婦人科医院、あいざわクリニック

名取市医師会

毛利内科

■宮婦連

鶯沢婦人会

菅原悦子、菅原キクミ、千葉たつ子

多賀城市婦人会連合会

阿部純子、根本菊江、伊藤輝美、佐藤セツ、
松村敬子、大内芳子、阿部多枝子、小野絹子、
渡辺千代子、小野雅代、笹原うた子、

小野くに子、菊田百合子、白濱宣子、鈴木絹子、
庄子よし江、櫻井やえ子、渡辺とめ、眞山祐子、
小幡公子、平山裕子、平野美津江、鈴木英子、
友野美津子、鈴木安子、石塚美代子、
伊藤友子、加藤悦子、小幡洋子

松岩婦人会

名取市地婦連

愛島婦人会、増田西婦人会、名取が丘婦人会、
閑上婦人会、館腰婦人会、増田婦人会、
高橋志津枝、下増田婦人会

吉田婦人会

鈴木好子、小野典子、條まさ子、小野礼子、
渡部とも子、岩佐直子

大島婦人会

宮地域婦人会

大庭栄子、我妻美枝子、阿部暢枝、
高田幸子、菅野しのぶ

築館婦人会

千葉とみ子

■個人

佐藤美千子、早坂征市、小野昭子、大宮みつ子、
出川博一、来海慶子、村上裕重、三塚篤、
村山すみ子、阿部利子、面川和信、加藤秀則、
江向裕史

■職員

佐藤真由美、佐藤亘、田名部朋子、玉木雅大、
中川知恵、中川朋美、及川貴司、千坂みゆき、
布田直樹、盛田美樹、石川宏一

賛助会員（個人・法人の継続寄付）を募集しております。

当協会では、がんに関する正しい知識の普及啓発、がんの早期発見・早期治療のための調査研究等の事業を行っています。このような事業活動は皆様からの尊い寄付により支えられています。

なお、寄付金については**税制上の優遇措置**を受けることができます。**個人**の方からの寄付金は、所得税において優遇措置対象となり、寄付者の方は確定申告の際に従来の「**所得控除**」と「**税額控除**」の**いずれか有利な方を選択**して控除を受けることができます。**法人**の寄付金に対する優遇措置としては、「**特定公益増進法人**」に対する寄付に該当しますので、**法人税法上の規定による限度額が損金**として認められます。



寄付金の種類

- **賛助会員寄付** 協会の活動をご支援いただき、毎年ご寄付をしてくださる方
個人会員 1口 1,000円以上の寄付者(個人)
法人会員 1口 10,000円以上の寄付者(団体・法人)
特定維持会員 寄付金の額を定めて「がん征圧運動」に一層の協力支援をいただいている法人
- **篤志寄付** 協会の活動に対する一時的な寄付金
- **黒川基金** 黒川利雄がん研究基金のためと使用を指定した寄付金

がん征圧に向けた、あたたかいご支援ご協力をお待ちしております。
ご寄付のお申込、お問い合わせは下記までお願いいたします。



公益財団法人 宮城県対がん協会 法人総務課 法人事業係

〒980-0011 仙台市青葉区上杉5-7-30

TEL ☎ **022-263-1637** FAX ☎ **022-263-1548**

【受付時間】 月～金 9:00～17:00 (土日・祝日・休日は除きます)

E-mail ✉ houjin@miyagi-taigan.or.jp HP 🖨 <https://miyagi-taigan.or.jp>



HPIはこちらから